



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り

令和6年1月号

ヨハネスブルグ日本人学校

令和6年 本年もどうぞ宜しくお願いします!

昨年は保護者の皆様をはじめ、日本人会、在南ア日本大使館の皆様には本校教育活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も、教職員一同力を合わせて、子ども達の健やかな成長と地域と共に歩む教育活動を推進して参ります。今後とも皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



さて、本年度のまとめと次年度の進級・進学に備える3学期が始まります。新しい年を迎え、大きな夢を描くのと同時に、このことについては、今年はどうしてみよう、という具体的な目標や抱負、希望を抱いて3学期を迎えてほしいと思います。



3学期は1学期・2学期にくらべて一番短く、僅か45日間のまとめの学期になります。私たち教職員も、子供たちが意欲的に学習や運動に取り組むことができるよう、学校生活の意欲がさらに高まるよう関わります。

目標実現に向けての努力は美しく、人の感動を誘います。しかし、その努力も思いつきや気まぐれでは成果を多くは期待できません。子どもたち一人一人が1歩前に出て新しいステージの準備の期間ととらえてスタートを切ることができればと考えます。どの学年の子どもたちにとっても次の学年への大切な時間であることを伝え、「あたりまえのことをしっかりしていく」、そして、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決していけるよう支援してまいります。特に6年生にとっては、卒業・進学という人生の節目を迎えようとしています。子どもたち一人一人が自分の目標をもって学校生活を送ることができるよう全職員で取り組んでまいります。



保護者の皆様を始め、日本人会、在南ア日本大使館の皆様、本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

3学期始業式 校長講話 辰年を迎えて 発気用意 ※始業式の式辞より抜粋

皆さん、おはようございます。新年の挨拶をしましょう。明けまして、おめでとうございます。新しい年、令和6年、西暦2024年が始まりました。



皆さん知っているように、今年(たつどし)です。辰は、十二支のなかでは5番目に数えられ、また、今年の干支(えと)は「甲辰(きのえ・たつ)」です。干支は、十干(じっかん)と十二支の組み合わせにより全部で60通りですが、その41番目になります。皆さんは、それぞれ生まれた年の干支があり、60歳の時に同じ干支を迎えることとなります。その時を還暦といいますが、私が読んだ本によると、還暦は人生の折り返しであり、さらに60年、実際には、とても難しいことですが、120歳まで生きることが前提となっているそうです。

辰とは竜(龍)のことですが、十二支では唯一、空想上の生き物です。陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だといわれています。

さて、この休みに昨年一年間を振り返る、お相撲の特集番組を見て、お相撲さんの日々の努力の姿、勝負の真剣さや厳しさに感動しました。

これは、その写真です。ところで他のスポーツであれば審判にあたる行司は、何て言っているのでしょうか。皆さんもよく知っている「はっけよーいのこった」ですね。

では、どういう意味でしょうか。いろいろな説があるのですが、今の皆さんにぴったりのものをご紹介します。漢字で書くと「発気用意(はっきようい)」と発音されることが多いです。この言葉は、「体中の気力を出して、よく考えて工夫して勝負しなさい」と言っているのです。「残った」は、「まだ勝負がついていない。全力を尽くして!」ということですよ。



「気力を出して、よく考えて工夫して勝負しなさい」は、なにも相撲に限ったことではなく、他のことにも通じるものです。スポーツをする時はもちろんですが、勉強をする時や仕事をする時にも、物事を成功、実現するためには、二つのことが大切です。「明日からがんばる」というゆるい気持ちじゃなくて、一つ目は、「よーし、やるぞ!」と気力を充実させ、二つ目は、「計画や作戦」をしっかりと考えて実践することが大切です。皆さんが新年、新学期を迎えるにあたって立てた目標への取り組みは、まだ始まったばかりか、これからはじまるところです。日々の地道な積み重ねこそが目標達成への近道です。

「発気用意 残った!!!」。

一日一日を大切に、まとめの学期となる3学期の学校生活を過ごしていきましょう。